

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

柳井市教育委員会

調査結果の公表にあたって

柳井市では、学校の組織的な取組を軸として、家庭、地域が連携して子どもたちの基礎的な知識及び技能と思考力、判断力、表現力等、そして学びに向かう力、人間性等の資質・能力を育成していくための「確かな学力」の向上に努めているところです。

そこで、教育課程の編成及び授業改善、児童生徒の学習状況の改善等に役立てることをねらいとして、児童生徒一人ひとりの成果と課題をより具体的に把握し、今後の施策に生かすために、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、公表することとしています。

児童生徒に関わる様々な立場の方々と調査結果から見える成果や課題を共有していきながら、今後もより一層、学校・家庭・地域が連携し、一体となって柳井市の子どもたちを育てていきたいと考えます。

なお、結果の取り扱いについては、以下のことに御留意くださいますようお願いいたします。

- ・調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であること。
- ・国や県の平均正答率との比較により、序列化や過度の競争をあおるものではないこと。

調査の概要

＜調査の目的＞

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・本取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

＜調査実施日＞ 令和 8 年 4 月 2 3 日（木）

＜調査実施校及び児童生徒数＞ ※小学校設置数は 11 校だが、うち 1 校は対象学年児童の在籍なし

学 年	学 校 数	児童生徒数
小学校第 6 学年	柳井市立小学校 10 校	208 人
中学校第 3 学年	柳井市立中学校 3 校	225 人

＜調査の内容＞

①教科に関する調査（小学校…国語、算数 中学校…国語、数学、英語）

- ・調査問題では、以下 1）と 2）を一体的に問うこととする。
 - 1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - 2) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）【小学校…73 項目、中学校…80 項目】

イ 学校に対する調査（学校質問紙）【小学校…85 項目、中学校…93 項目】

調査結果の概要

〈教科に関する調査〉

(小学校) 平均正答率 (%)

	国語	算数
柳井市	64	63
山口県	62	57
全 国	60.9	56.4

(中学校) 平均正答率 (%)

	国語	数学	英語
柳井市	66	60	500 ～509
山口県	64	57	495 ～504
全 国	63.9	57.0	499

※中学校英語のみ平均 I R T スコア

(小学校) 調査の状況 ※ () 内の数値は正答率

	相当数の児童ができている点	課題の見られる点
国 語	○日頃よく使う漢字を正しく書くこと 【問題：みじかい】(88.4%)	●メモの情報から言葉を抜き出し、条件に合わせて自分の考えが伝わるように書くこと (38.4%)
	○比喻表現の効果について、適切なものを選ぶこと (73.2%)	●画数の多い漢字を正しく書くこと 【問題：ふしぎ】(42.6%)
算 数	○数の表し方の仕組みを理解し、3枚のカードを使って条件に合う小数をつくること (97.9%)	●二次元の表から、条件に合う数を読み取ること (16.3%)
	○提示された分数から、数直線上の1を表す目盛りを捉えること (81.1%)	●一人あたりの大きさから混み具合を比べた説明で、適切な語句の組みあわせを選ぶこと (35.8%)

(中学校) 調査の状況 ※ () 内の数値は正答率

	相当数の生徒ができている点	課題の見られる点
国 語	○文に合うように表現の効果を考えて書くこと (95.5%)	●ある語句の意味を踏まえ、文中から類語を抜き出し、文脈上の意味を捉えること (35.4%)
	○例えを使った発言の意図を汲み取り、適切なものを選ぶこと (81.8%)	●擬態語を使った文と使っていない文を比較し、擬態語の効果について、条件に合うように自分の考えを書くこと (40.9%)
数 学	○温度について、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すこと (79.9%)	●具体的な作図を基に、辺や角の関係から証明する事柄の仮定を見いだすこと (35.2%)
	○箱ひげ図と四分位数の対応について理解していること (77.4%)	●日常問題におけるデータの傾向を適確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること (43.7%)
英 語	○日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ること (83.6%)	●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、まとまりのある英文を書くこと (21.2%)
	○日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること (74.2%)	●社会的な話題について、短い英文を読み、要点を捉え、自分の考えとその理由を英文で書くこと (29.6%)